

平成29年6月2日

築地市場の豊洲移転に関する公開質問状について(回答)

会派名 東京都議会自由民主党

質問1. 築地市場の豊洲移転について賛成ですか、反対ですか。

(回答) 賛成

(法的にも科学的にも、安全性が担保された豊洲市場へ早期に移転すべし)

質問2. 上記1の回答について、その理由を具体的にお書きください。

(理由)

- ①豊洲市場への移転問題は、昭和30年代の大井市場建設構想から始まり、昭和60年の築地本願寺での総決起集会、築地現在地再整備の頓挫などを経て、平成13年によく豊洲地区への移転が決定した。その後、豊洲市場用地の土壤汚染の問題、現在地整備の議論の再燃など、様々な苦難の歴史を重ねてきた。
- ②このような中、市場関係者の要望を受けて、都議会及び都との三者が一丸となって、真摯に議論と検討を積み重ね、関係者の合意のもとで、平成28年11月7日に豊洲に移転することを再決定した。これは関係者が、長年にわたり粉骨砕身努力してきた熱意が結実したものである。
- ③しかしながら、昨年8月、小池知事は、記者会見において突如、築地市場の豊洲新市場への移転延期を表明した。この決定は、11月7日の移転に向けて準備を進めていた市場関係者にとっては晴天の霹靂であり、市場関係者に多大なる負担を強いるとともに、東京都との信頼関係を崩壊し、市場関係者間の信頼関係も著しく損うこととなった。
- ④また、議会への事前説明もなく突然決定を発表したことは、都民の付託を受けた二元代表制のあるべき姿を大きく逸脱するものである。さらに、都庁の最高意思決定機関である「庁議」においても、まったく報告・協議はなく、一方的に公表したことは、行政のトップのあり方としても極めて問題のある姿勢である。
- ⑤小池知事が移転延期を発表して以来、すでに10か月が経過しているが、いまだ知事からは明確な方針が示されていない。いま、都民の大多数の意見は、一日も早く市場移転への判断を示せということである。また、築地市場関係者にとっては、豊洲と築地の両方に重複投資を強いられ経営は圧迫され、大きな困難に直面している。
- ⑥本年、第1回都議会定例会において、我が党の質疑に対し、知事自身が豊洲の科学的・法的な安全性を認めた。また、専門家会議や市場問題プロジェクトチームにおける論点は出尽くし、安全性の議論は十分深められたと言える。まさに機は熟し、移転問題についての決断はまったなしの状況である。
しかしながら、知事は移転への論点を「安全」から「安心」という抽象的な視点にすり替え、しかもその合理的判断基準をまったく示さないまま、今日に至っている。

- ⑦そもそも、築地市場での営業継続には、衛生面、耐震性、アスベスト、土壌汚染などの問題があるため断念した経緯があり、平成3年に着手した現在地再整備は、結局、関係業界の方々に与える多大な影響や反対により頓挫している。豊洲移転問題を考える際には、まず市場関係業者の方々の事を優先に考えることが重要であり、その理解と納得があつてこそ、都民の安全・安心が確保されることは自明である。
- ⑧約80年前に建築された既存不適格の築地において、これからも営業を続けるのか、それとも、衛生面、耐震性、機能性など全ての点において、法的・科学的安全性が立証されている豊洲で営業を開始するのか、市場の持続可能性の観点からも、その結論は明らかである。
- ⑨また、これまで知事は地下水を問題視してきたが、飲料水としても洗浄用としても使用することは全くなく、市場として運営していく上で、科学的に全く問題がないことが、専門家会議によって担保された。
- ⑩この間、都議会でも、「豊洲市場移転の経緯等に関して調査する特別委員会（百条委員会）」を設置し、多くの証人喚問を実施したが、知事が指摘したような、市場用地の取得に係る利権や収賄等の違法性・不正は、なんら確認されなかった。
- ⑪こうした中、本年3月24日、知事は記者会見で、「市場のあり方戦略本部」を新たに設置し、市場の今後のあり方について検討することを表明した。しかし、既に知事自らが立ち上げた専門家会議や市場問題PTでの検討や、都議会本会議、豊洲移転問題特別委員会、予算特別委員会において議論が尽くされ、問題点は明らかとなっている。
- こうした状況で、もう一度新たな組織に丸投げすることは、この問題を政争の具にし、さらに先送りすることに他ならない。
- 一方、築地市場業界と都の公式な協議機関である「新市場建設協議会」に対しては、一連の移転延期等の決定にあたって、事前の協議や報告は、まったくなされていない。すでに、知事の判断による移転延期に伴い、125億円/年に及ぶ都の財源が無駄に使われている。
- ⑫さらに、現在開会されている第二回都議会定例会においても、小池知事は豊洲市場移転問題に関し、都民が納得できるような判断や決断は一切なく、すべて問題解決を先送りにしている。
- ⑬これまで東京都議会自由民主党は、一貫して市場の科学的・法的な安全性を検証し、百年先を見据えた市場運営のあり方について検討してきた。都民の皆さんに「安全安心な食料品を安定供給」していくには、近代的かつ持続可能な豊洲市場への移転しかあり得ない。知事は、豊洲市場の移転問題について、市場関係者や都民が納得できる、明確かつ具体的な結論を、一日も早く明らかにすべきであると考えている。

以上